

超高磁場 MRI を用いた高次脳機能検査に関する説明書

【検査の名称】

機能的 MRI による脳賦活検査

【検査の概要】

1. 検査の目的と方法

脳の中を調べる方法に、磁石を利用する磁気共鳴画像検査 MRI がありますが、これを使って脳の血液の流れる様子を画像として撮影して脳の働きを調べます。そのデータを組み合わせて解析することにより脳のどの部分の血流が増加したかを調べることを目的とします。

2. 期待される効果および副作用

この検査によって、それぞれの課題を遂行したときにあなたの脳がどのように働いたかを調べることが出来ます。この成果は、人の脳がどのように働いているかを探るのに役立ちます。また、病気によって脳の一部が損傷したときにその回復過程を調べれば、今後の治療法の開発にも役立つと考えられます。

使用する検査装置は、患者さんの診療に使用されているものであり安全性には問題がないと考えられます。この検査は放射線を使わないのでその影響はありませんが、強い磁石の中で検査を行ないますので金属の異物、心臓ペースメーカーや人工内耳などがあると検査できません。また、検査中にもし何らかの異常があればどんなことでも申し出てください。ただちに適切な処置が行なわれます。

3. ほかの検査との比較

脳の働きを調べるには、脳波やアイソトープを方法などいろいろな検査方法がありますが、この検査方法は、放射線被爆がなくて脳のどの部分が働いているかを調べる点に特徴があります。

【検査の同意について】

この検査はあなたの同意が得られない限り行なわれることはありません。この検査を受けることに同意しなくても、今後の一般診療における扱いに何ら影響することはありません。また、同意した後でも受けたくなくなった場合、いつでも辞退することが出来ます。あなたのプライバシーは厳重に守られ、この検査に関することで名前が出ることは決してありません。この検査についてもっと知りたいことがあれば、いつでも遠慮なく申し出てください。

説明者

診療科名 _____

医師名 _____

私は上記説明を受けた上で検査の実施を承諾致します。

平成 年 月 日

被検者氏名 _____ 印

代理人 _____ 印

被検者との続柄 ()